

中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■民謡を唄って長生きしよう

「鷗春会」(おうしゅんかい)

民謡の大好きな仲間が尺八、三味線の生伴奏で「故郷(ふるさと)のうた」を唄い楽しもう。そんな思いから誕生した「鷗春会」(藤原忠二会長、永井春吉会主)。平成17年に発足して今年で11年目を迎え、ますます向上心に燃え、稽古に励む姿は輝いている。稽古は月2～3回、葛野コミュニティハウスで行っている。尺八伴奏3人、三味線伴奏3人を含め総員15人(うち女性3人)。



稽古風景(左が永井さん)

会主の永井さんは言う。舞台上立つときは、いつも思いを込めて、人の心に届く唄を唄いたい。遠い昔の故郷の生活が滲み出るような、そして、お客さんがシーンと聞いてもらえるような、そんな唄を思いを込めて唄いたい。しかし、それは年に何回もないとか。

「鷗春会」の名称だが、初めは「江差追分の会」としていた。泉区民謡連合会に登録するとき、会主の永井さんの名前から「春」を1字とって「鷗春会」とした。永井さんは昭和39年から江差追分の関東大会を勝ち抜いて江差追分全国大会に毎年出場、今年で16回を数える。唄の勉強会を含めると江差通いは通算50回以上にもなる。民謡歴20年、江差追分会準師匠である。

「鷗春会」にはオリジナルな認定表彰制度というものもある。合格すると初級、中級、上級と認定される。毎年、稽古初めに各人が覚えたい唄をプロの唄でCDを作り、個人でも稽古の時も課題曲として重点的に稽古を行う。7年間で上級40人、中級33人、初級24人が顔写真入りの認定書をもっている。

会としての年間の行事も多彩だ。各地で開かれる民謡全国大会(江差追分大会、秋田船方節、秋田追分大会)、泉区チャリティー、葛野コミュニティハウス文化祭、平間民謡大会など。中田連合「敬老会」からも平成25、28年と2回出演を依頼されている。個人的なものでは老人施設の慰問、津軽三味線発表会など。温泉旅行、忘年会などもお互い交流を深める楽しい行事だ。

「鷗春会」の実力を示す明るい話題もある。平成25年、江差追分関東大会で永井さんが熟年一部で優勝。日民コンクール(国技館)前年優勝者の伴奏を工藤敏暢さん、永井さんで出演。同年12月、中田小学校から依頼され5年生105人に日本の古典芸能に触れる授業として、民謡講座を行い生徒から感謝の作文を戴いている。



ている。

平成26年、江差追分関東大会で小沼とみ子さんがスーパー熟年優勝。泉区高齢者カラオケ大会で関利英さんが区老連会長賞を受賞。平成27年、東芝EMIコンクールで永井さんが優勝、甚内八次郎さん3位、藤原さん4位になっている。

「鷗春会」は長年の活動を通じて会員相互がお互いを認め合い、受け入れあって民謡を唄うことを通して毎日の生活を楽しみ励ましあい和気あいあいと遊んで暮らしている。明るく楽しい稽古

の部屋には尺八、三味線の快い音色が漂う。民謡はわれわれの心を癒し、感動を与える。それを日々実践しているのが素晴らしいと思う。

(宮田貞夫)

<お詫びと訂正> 前号の「この人に会いたい」の中で中島健吾氏は、正しくは憲五氏の誤りでした。訂正しお詫びいたします。

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう!～

1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

第40回 中田新春健康マラソン大会

日時：平成29年1月15日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込み不可）※12月21日必着

表彰：種目ごとに表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞など多数あります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地
区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。



■ 泉区制30周年記念公演

感動を与えた 第21回「いずみ歌舞伎」

今年で21回公演を迎えた「いずみ歌舞伎」（主催：いずみ歌舞伎保存会）が10月15、16日の2日間、泉公会堂で行われた。区制30周年ということもあって、演目といい、出演者たちの好演技が光った。「区民手作りの本格歌舞伎」と表題で謳っているが、20年からの歴史の伝統と演技は、堂々たるものだった。

今回の演目は「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場」。ご存知、仇討で有名な忠臣蔵。通常は序段から11段までであるが、今回は中でも最も人気の高い七段目。主君の仇を討つどころか京都一力茶屋の遊郭で遊びほろける大星由良之助（大石内蔵助）。そこへ仇討ちの同志が由良之助を訪ね、決起を促すが由良之助は聞く耳をもたない。折しも息子の大星力弥が密書を由良之助に届けに来る。ところがそれを遊女おかる、と斧九太夫に知られてしまう。由良之助はおかるを身請けして口封じしようとする

そうとするが、それを知ったおかるの兄寺岡平右衛門は、自分がおかるを殺し仇討ちの四十七士の連判に加えてもらおうとする。

こんな場面で登場する松本 敏（由良之助）、ふもと理恵（遊女おかる）、馬場勝己（赤垣源蔵）、池田光子（斧九太夫）さんらの役者陣が好演技を見せてくれる。しかも長いセリフを滔々と演じているのだ。特に感心したのは松本さんの板についての演技力だ。

「いずみ歌舞伎」の伝統文化を継承しようと、小、中学生を中心に団員に加えているのは素晴らしいことだ。今回「三人吉三巴白浪」を子どもたちが演じていたが、子どもだけの時代劇は滅多に見られないだけに感動した。役者20人、スタッフ30人、総勢50人が今年3月から稽古を積み今日の本番を迎えた。最後まで楽しめた「いずみ歌舞伎」だった。（「いずみ歌舞伎保存会」は泉区制30周年に当たり区政功労賞を受けた）

（宮田貞夫）



■ 中田連合地区経営委員会 福祉保健検討部会 子育て支援班

「しらゆり公園外遊び」参加者120名！（中田・しらゆり子育てネットワーク）

11/9（水）、時折小雨の降る中、参加親子120名、ボランティア30名の総勢150名で開催。恒例の餅つきも行われ、つきたてのお餅は全員に配られました。中田・しらゆり子育てネットワークは、中田・白百合両地区経営委員会を中心に中田の親子サークル、中田・白百合の子育て関係者で構成されています。（葛西）



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！